THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、セゾン AIR パートナーシップ来日者の紹介

2022 年度のセゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、Mapped to the Closest Address との交流事業の一環として、ベルリンを拠点に活動するドラマトゥルクのアレックス・ヴィテリと、照明・音響デザイナーのカタリーナ・フェルナンデスをお迎えします。

Mapped to the Closest Address はアレックス・ヴィテリやカタリーナ・フェルナンデス、吉田駿太朗、前野真榛の 4 人の人間と 1 匹の猫、ヴィオレッタからなる異種間ダンス・コレクティブです。振付の実践を通して、近代化および植民地主義へ向かう社会を問い直すと同時に、自然環境に対する人間の態度について疑問を投げかけ、人間中心的な視点の転換を促すプロジェクトを展開しています。

2020 年にスタートした本事業で Mapped to the Closest Address は、東京とベルリンのそれぞれの土地で出会った庭師や樹木医、コミュニティガーデンのメンバー、農家、ワイン職人、そして、家族や友人から様々な声や物語を収集するリサーチをしました。また、それらの声や物語とともに、過去、現在、そして想像のランドスケープを織り交ぜたダンス・パフォーマンス、『Turn Off the House Lights』を 2022 年 3 月、ベルリンのコルディレラで発表しています。

今回の来日でアレックス・ヴィテリとカタリーナ・フェルナンデスは、これまでに吉田駿太朗と前野真榛がリサーチした軌跡を追い、ベルリンで発表した『Turn Off the House Lights』に東京のランドスケープと生態系を融合させた新たなパフォーマンス作品の創作を試みます。

滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを理解していただくため、舞台芸術関係者と交流していただく予定です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

■ 滞在期間　2022 年 8 月 3 日（水） - 9 月 14 日（水）
　＊8 月 27 日（土）森下スタジオでイベントを開催予定

■ 滞在場所　森下スタジオ　（東京都江東区森下 3-5-6）

令和 4 年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」

公益財団法人セゾン文化財団
〒104-0061 東京都中央区京橋 3 丁目 12 番 7 号 京橋山本ビル 4 階 TEL 03-3535-5566 ／ FAX 03-3535-5565

プロフィール

Mapped to the Closest Address

4 匹の人間と 1 匹の猫ヴィオレッタからなる異種間ダンス・コレクティブ。振付の実践を通して、近代化および植民地主義へ向かう社会を問い直すと同時に、自然環境に対する人間の態度について疑問を投げかけ、人間中心的な視点を転換しようとしている。人間以外の生物に触れ、またその出会いを記録していく。

https://www.mappedtotheclosestaddress.com/

アレックス・ヴィテリ　ドラマトゥルク

1987 年コロンビア生まれ。ベルリンとニューヨークを拠点に活動する南米のパフォーマー、研究者。主にビジュアルアートとパフォーマンスの境界で活動している。アンデス山脈のルコ・ピチンチャとコトパクシの近くで育った。フェミニストの脱植民地主義活動家や研究者に触発され、アンデスの知識や人種の問題に関心を持ち研究している。

吉田駿太朗　ダンサー、振付家、コンテンポラリーダンス及びパフォーマンス研究者

1989 年宮城県生まれ。2009 年 Noism2 を退団後、フランスでコンテンポラリーダンスを学び、ポスト・コレオグラフィーや参加型の振付実践を制作・研究する。2020 年より、レモングラスや鶏など他種族とのダンスを開始し、アーティストのユニ・ホン・シャープと『地衣類のスコア』（2022）を製作した。東京藝術大学大学院音楽文化学研究領域博士号（学術）取得修了。早稲田大学大学院スポーツ科学研究科およびベルリン芸術大学に PD として在籍。

カタリーナ・フェルナンデス　照明・音響デザイナー

1977 年コロンビア生まれ。ベルリンを拠点にサブリミナルな空間や、その場を包み込むようなインスタレーションを制作している。いくつかの作品ではテクニカルディレクターを務め、振付家、映画制作者、複合芸術家とともにコラボレーションしている。振付家ジュリアナ・ピケロ、音楽家ハンス・ウンシュテルン、アーティスト集団フェーラス・パブリッシング・プラクティスと継続的にコラボレーションを続けている。

前野真榛　アーティスト、パフォーマー

1994 年茨城県生まれ。ベルリン在住の日本人アーティスト、パフォーマー。地域社会や公共空間に介入する参加型アートを手がけ、近年は人間以外との共同作業も探求している。 2019 年にニューヨークのアートスタジオ De-Construkt でアシスタントを務め、展覧会の企画運営やワークショップの開催をした。2020 年に東京藝術大学音楽環境創造科にて学士号を取得。ベルリン・ヴァイセンゼー芸術大学の修士課程空間戦略学科に在籍。

ヴィオレッタ　映像撮影、パフォーマー

2022 年ブランデンブルク生まれ。ベルリンとフランクフルト・オデーを拠点に活動。映像撮影や尻尾を使ったダンスを行う。

※滞在期間中、越後妻有 大地の芸術祭 2022 にて『誤山を眺める』を発表します。
https://www.echigo-tsumari.jp/art/artwork/we-like-to-watch-clumsy-seeming-mountains/